

日本ACP研究会

NEWS LETTER

Vol.02
2021.5

日本アドバンス・ケア・プランニング(ACP)研究会第5回年次大会を開催して



大会長
医療法人社団オレンジ 理事長
紅谷浩之 氏

日本ACP研究会第5回年次大会 in 福井は9月20日(日)～21日(月・祝)の2日間にわたって、全編オンラインというスタイルで開催し、約700人の方々に参加登録をいただき、盛会のうちに幕をおろさせていただきました。

在宅医療の現場で日々向き合う「その人らしさ」は実に多様であり、常に変化をし続けています。地域における医療のあり方はどうでしょうか。人生100年時代を迎え、治す医療から癒し支える医療への転換が図られる中、私たち医療者自身の考え方はどう変わったのでしょうか。私たちは、治すことのできない病や老いと向き合いながら、前向きに生きがいを持って生きる人たちと出会ってきました。「Be Happy!」幸せであるということの本当の意味を、大会のメインテーマである「Be Happy! あなたらしさ×わたらしさ」として、ACPのセッションでも大いに語り合うことができたと思います。

研究会としても前例のない、オンライン開催という初めての挑戦で、不手際もあったかと存じます。ご迷惑をおかけしたことにつきましては、改めてお詫び申し上げます。

第5回 日本ACP研究会 年次大会

■2020年9月20日・21日(月・祝)
■オンライン(zoom)

第5回日本ACP研究会年次大会は2020年9月20日日～21日(月・祝)の2日間にわたって、全編オンラインというスタイルで開催し、約700人の方々に参加登録をいただきました。また、口演発表も演者のみなさまのご理解とご協力のもとでオンラインでの事前収録を経て、動画配信させていただきました。多数の方々にご視聴いただくことができました。コロナ禍をきっかけに業界を問わず加速するオンライン・デジタル化の流れの中で、今後のさらなる発展への期待を持ちました。



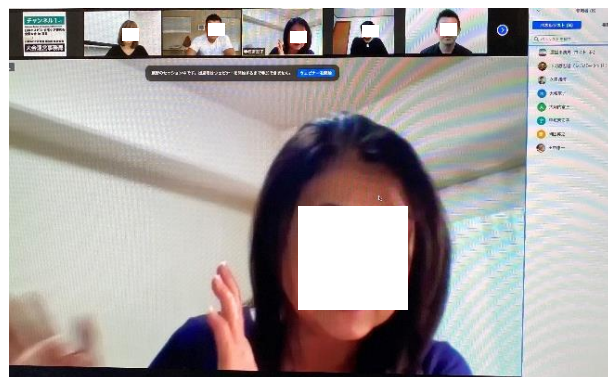
本大会は第27回日本ホスピス・在宅ケア研究会との共同開催となり、ACP(人生会議)に関するシンポジウムに加えて、多くの企画で異業種・異分野のゲストをお招きしました。参加者から幅広い視点で質問をいただき、演者のみなさまとともにそこに向き合うことで、たくさんのあなたらしさや

わたしらしさ、そこにある多様な価値観に触れることができました。本大会を機に、一人ひとりが新たな気づきをもとに、前を向いて挑戦をし続けていただけないかと期待します。

コラボセッションの「ACPを地域で扱う」では、宇都宮宏子さんの進行のもと、下河原忠道さん(株式会社シルバーウッド代表)とともに、「生活の場での人生会議」と題してディスカッションが行われました。下河原さんは、『高齢者は生活の場に戻ると「やらねば」という意識が芽生えて生きる力を取り戻してくる』、とか、『いい日常生活の延長にこそいい看取りがある』、として、ACPは特別な時間や空間で切り分けられるものではなく、日常生活の流れの中で対話を重ねていくことが重要ではないかと強調されました。また、看取りを経験したことの無い介護職にとっての敵は「得体の知れない不安感・恐怖感」であるとし、獲得すべきは「死に向き合う覚悟」と「看取りを経験する事」に尽きると述べられました。

続くセッション「地域を巻き込むACP教育」では、大城京子さん(居宅介護支援事業所快護相談所和び咲び)が教育の観点から、ACPにおける支援者の姿勢について議論を展開されました。大城さんは話し合いをするかどうかは本人の心の準備や段階に寄り添い、「積極的待機」をすることが大事であり、前のめりで決定を迫ったり、話し合う場をわざと作ったりしてはいけないと強調されました。また、結果的に支援者側の安心を目的として文章にまとめようとしてはならないとし、生活の中に散りばめられた思いを大切に、その思いをつなげる関わりを続けてもらいたいと述べられました。

いずれのセッションでも、医療や看護それに介護それぞれの連携は欠かさないようにすること、また、終末期は選択の連続であり、選択した後にその選択でよかったと思えるようにフォローしていくことが極めて重要だということも確認されました。



地域ACP情報

札幌市豊平区西岡・福住地区

【令和2年度『とよひら・りんく』の活動】

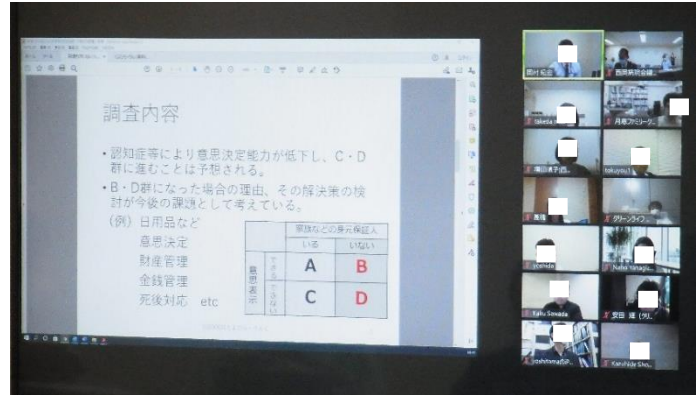
昨年度(令和2年度)、当地域ではアドバンス・ケア・プランニングの取り組みの一環として、身寄りがない人に関する対応について検討を行いました。当院でも救急搬送で受け入れ後に身寄りがないことが明らかになることや、ご本人が認知症で意思決定ができない状況となっていること、介護施設入所中の方の身元保証・身元引受等が不在となった等の事例が増え、対応に苦慮している実態があります。

多くの医療機関、介護施設が求めている「身元保証・身元引受等」の機能や役割については地域での取り組みが必要で、医療・介護従事者のみならず、地域の行政、地域包括支援センター、医療機関、介護施設・介護事業所、弁護士等との連携が求められると考えました。

「とよひら・りんく」では年4回の合同会議を継続しており、コロナ禍の中、オンラインで開催を継続しました。地域での対策として、弁護士による「身元保証人の役割とその機能について～法的立場から」と題してオンラインで講演、当地域で対応した事例についての症例報告、支援が可視化できるような対応マニュアルとして「対応シート」を作成、地域住民向けとして、既存の冊子「自分らしく生きるために」の一部修正、冊子「今から考えよう」の作成を行いました。作成した資料はホームページに掲載しております。

具体的な対応策、解決策を地域の関係職種で共有をし、対応マニュアルの修正を行うとともに、継続的に症例報告等を実施し、活動を継続していきたいと思っています。

とよひら・りんく <http://www.toyohiralink.jp>



今から考えよう

もしもの時の医療や生活について
考え、話し合い、共有する「人生会議」

あなたのこと

家族構成

大切な友人

医療のこと

介護のこと

大切なこと
嫌なこと

もしもの時のこと

重い病気が
なったら?

認知症に
なったら?

医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなどと
相談しながら書きましょう

とよひら・りんく

身元保証人のこと

- ①緊急の連絡先に関すること
成年後見人が選任されている場合でも、親族等がいる場合、治療の内容によっては親族等へいつ場合もあり得ますので、内容と連絡先については事前に確認しておきましょう。
- ②入院診療計画書や介護保険制度の利用契約に関すること
ご本人のほか、ご本人以外の方への説明と同意が必要となる場合がありますので、事前に確認しておきましょう。
- ③医療機関に入院・介護施設等に入所中に必要な地域の準備に関すること
医療機関や介護施設等では、一部購入や貸し出しができることや一部預り金などの対応をしているところがあるので、事前に確認しておきましょう。
- ④医療機関での入院費・介護施設等での入所費等に関すること
金銭管理をしている方の確認と保証等の確認しておきましょう。
- ⑤遺族・遺族の準備
医療機関からの退院、介護施設等からの退所の際、次の生活場所についての相談や連絡調整、ご相談内容の引継ぎや「身元保証・身元引受」の項目①～④の確認しておきましょう。
- ⑥治療や人生の最終段階における意思決定に関すること
治療の方針や人生の最終段階を決定する場所（ご自宅が医療機関が介護施設など）については、繰り返し話し合いが必要とされています。主治医や医療ソーシャルワーカーなどに相談しながら行いましょう。下記の考え方が推奨されています。

- ・家族等が本人の意思を決定できる場合には、その決定を尊重し、本人に意思の方針を伝えることとする。
- ・家族等が本人の意思を決定できない場合には、本人にとって何が最善であるかについて、本人に代わる者として家族等と十分に話し合い、本人にとって最善の方針を伝えることとする。
- ・専門の相談、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じて、このプロセスを繰り返す。
- ・家族等がない場合及び家族等が判断を医療・ケアチームに委ねる場合には、本人にとっての最善の方針を伝えることとする。
- ・このプロセスにおいて話し合った内容は、その都度、文書にまとめておくものとする。
- ※学業・理生科等 人生の最終段階における医療・ケアプロセスに関するガイドライン

当地域では、医療・介護従事者のほか、弁護士等が関わった臨床倫理委員会での検討も必要に応じて行っています。

- ⑦(死亡時の)遺体・遺品の引き取り・葬儀等に関すること
親族等がない場合の遺体・遺品の引き取り・葬儀等については、葬儀会社、宗教、死後委託契約の有無等、事前に確認が必要です。状況によっては成年後見人等、市町村、葬儀会社との事前に相談しておきましょう。

		家族などの身元保証人	
		いる	いない
意思表示	できる	A	B
	できない	C	D

「身元保証-身元引受等」の確認事項

状況(A～Dを選択)	A・B・C・D (年 月 日)	A・B・C・D (年 月 日)
	対応者とその連絡先	対応者とその連絡先
①緊急の連絡先に関すること		
②入院診療計画書・介護保険制度の利用契約に関すること		
③医療機関に入院・介護施設等に入所中に必要な物品の準備に関すること		
④医療機関での入院費・介護施設等での入所費等に関すること		
⑤遺族・遺族の準備に関すること		
⑥治療や人生の最終段階における意思決定に関すること		
⑦(死亡時の)遺体・遺品の引き取り・葬儀等に関すること		
⑧その他(自筆、封筒など)		

とよひら・りんく役員

会 長	五十嵐 知文	社会医療法人恵和会西岡病院 院長
副 会 長	澤 田 格	社会医療法人恵和会西岡病院 内科医長
事 務 局	岡 村 紀 宏	社会医療法人恵和会西岡病院 ソーシャルワーカー

一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 事務局

〒474-8511 愛知県大府市森岡町7丁目430番地
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部内

☎0562-48-8456
E-mail : acp.study.group@gmail.com